



富合中学校 学校だより 第36号

令和7年3月7日（金）発行

文責 校長 林田武海

～ 笑顔があふれ 生き生きと輝く 富中生 ～



〈第54回卒業証書授与式 ～新たなステージへの旅立ち～〉

本日、第54回卒業証書授与式を無事に挙行することができ、144名が富合中学校から次のステージに羽ばたいていきました。卒業証書を受け取る際の一挙手一投足は、まさに中学校3年間の集大成に値するものでした。卒業生一人一人に無事に手渡すことができ私自身も感無量の思いです。式辞では「人と人とのつながりを大切に」「可能性そこにあり、全力惜まず」ということを伝えました。卒業生代表答辞を述べたのは鈴木源太くんです。支えてもらったすべての人たちへの感謝、後輩たちへのメッセージ、未来に向かっての決意等について、思いを込めて語ってくれました。最後の構成詩では、卒業生全員による合唱コンクール課題曲“正解”を再び聴かせてもらい、3年生の今の“心”を届けてもらったような気がしました。3年生から受け継いだ思いを1・2年生がしっかり



受け止め、また新たな富合中学校の伝統を築いていってほしいと期待します。卒業生保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。本校の教育活動に対するこれまでのご支援に感謝申し上げます。

昨年、富合町商工会青年部より寄贈していただいた“卒業証書の拡大版”を本日も卒業式終了後、正門近くの石碑横に設置させていただきました。好天に恵まれたため、写真撮影も晴れやかな表情で記念すべき一枚が撮れたようです。卒業生の門出の後押しをしていただき、商工会の皆様には改めましてお礼申し上げます。

